

「比例を軸に」を貫き、共産党躍進必ず 6中総を真正面に、参院選「必勝作戦」やり抜こう！ 参院比例850万票・15%以上で7議席を 東北で60万票・15%必ず

岩手・奥州市、一関市 小池局長が訴え

紙智子 参院議員
横沢たかのり 統一候補 が決意



声援に応える（右から）紙智子参院議員、横沢たかのり統一候補、小池晃書記局長、高田一郎県議の各氏=2日、岩手県一関市

2日、奥州市と一関市で小池晃書記局長を迎え演説会が開かれました。両会場とも満席で参院選、県議選勝利へ一大決起の場となりました。

演説会では、達増拓也岩手県知事のメッセージが紹介され、横沢たかのり・野党統一候補、紙智子参院議員が決意を述べました。

小池書記局長は「くらしに希望を」の3つの提案とともに憲法、沖縄、原発、党名と未来社会論など党の値打ちを詳しく語り、参院選の意義と一人区での野党共闘の勝利と比例での共産党の躍進。3人の県議の値打ちと実績を訴え、会場は大きな共感の拍手にこたえられました。

主権を守る政治の実現目指し、野党統一候補と比例の7人全員当選への決意を訴えました。横沢たかのり統一候補は「岩手の政党間で取り交わした10項目、市民連合との13項目の政策実現に真摯に取り組む弱者にやさしい社会はみんなにやさしい社会を作るためにがんばる」と決意をかわりました。

参院比例2次候補を発表

日本共産党の小池書記局長は3日、参院選の比例代表候補（第2次）を発表しました。

（東北からはふなやま由美・藤本ゆりの2氏）



ふなやま由美 新元仙台市議



藤本 ゆり 新党秋田県常任

参院選東北の一人区

6県全てで野党統一が実現

5月29日の5野党・会派の党首会談での合意を受け、東北でも6県全てで野党共闘が実現しました。青森県は小田切達氏（立憲民主）、秋田県は寺田静氏（無所属）、岩手県は横沢たかのり氏（無所属）、山形県は芳賀道也氏（無所属）、宮城県は石垣のり子氏（立憲民主）、福島県は水野さち子氏（無所属）の各氏が野党統一候補として決まりました。



福島・合意確認調印式 いわぶち友参院議員参加

1日、福島県市民連合主催の合意確認書調印式が福島市内で開かれ日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党の4県代表と無所属議員が、5項目の政策をもとに統一候補の無所属新人、水野さち子氏（県議）勝利へ力を合わせると調印しました。日本共産党の野口徹郎氏は立候補表明を辞退し「水野さんの勝利と比例での日本共産党の躍進に力を尽くす」と語りました。

衆院青森1区に さいとうみお氏

日本共産党青森県委員会、参院選挙区候補として活動していたさいとうみお氏を衆院青森1区に擁立すると発表しました。



さいとうみお 新党青森県書記長

高橋ちづ子衆院議員

弘前大学の創立70周年記念式典に参加



私の隣が本庶先生。真ん中は、佐藤敬学長。木村次郎衆議院議員、右側は遠藤正彦前学長。

わが母校弘前大学の創立70周年記念式典に参加しました。ノーベル医学士理学賞を受賞した本庶佑先生が「獲得免疫の驚くべき幸運」と題して記念講演をされました。（高橋ちづ子フェイスブックより）

一つ一つの地方選挙を勝ち抜こう

- 9日投票の岩手県九戸村議選が4日告示され、現職の久保えみ子氏が5期目を目指し第一声をあげました。
- 福島県国見町議選は、浅野とみお氏が無投票で6選を果たしました。
- 2日投票の青森県三沢市議補欠選挙は、奥本なおみ氏が5779票27.15%を獲得、善戦しましたが及びませんでした。
- 2日投票の青森県知事選挙は、市民連合あおもり、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党など市民と野党が支援した佐原わか子氏が10万5466票24.2%を獲得して健闘しましたが及びませんでした。

日本共産党国会議員団
東北ブロックニュース

2019
6/5
19号

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-2 8朝市ビル4階
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596
E-mail toblock@rose.ocn.ne.jp